

# めるへん



(撮影：永井時雄氏)

発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816  
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

シリーズ東日本大震災②

## 身近なものとして



去る3月11日に発生した「東日本大震災」は、私たちの暮らしにどのような影響を与えたのでしょうか。

6月12日から一週間大分県ボランティア市民活動センターが主催した「災害ボランティアバスツアー」に、県内から40名が参加して被災地(気仙沼市)での活動を行いました。このほかにも多くの個人や団体が現地入りし、多岐に亘る支援活動が行なわれています。

しかし、私たちは被災地に対する支援者として支援活動に取り組むだけではなく、同じ地震大国に住む者として今回の地震を一つの教訓とし、当事者として自分の住む地域の防災・減災対策に向き合う必要があります。現在、県の行政においても大分県地域防災計画の見直しが始まりました。

玖珠町でどのような防災・減災対策が行なわれているかを知ることが、実際の場での被害の減少に繋がり、行政や関係機関団体だけではなく住民のみなさんが携わることが大切になってきます。

今回の震災の尊い犠牲を無駄にせず、また被災した際に大切な生命を失わないためにも、私たち一人ひとりが自覚を持つことが望まれるのではないのでしょうか。

シリーズ連載

# 四日市老人クラブ

代表 時松 幹郎



四日市老人クラブが行っているいきいきサロンについて紹介します。今年度会員は五十数名ですが、今だ現役で農作業に従事している方、体の不自由な方を除いて、二十、三十名の方が参加してくださいます。

このサロンは平成二十年、大分県後の十一月より始めまして、今年で四年目を迎えました。昨年を振り返りますと、年九回（総会・敬老会を含む）行なっています。

いきいきサロンでは、最初に皆で歌を合唱します。全員同じ歌本を持っていて、昔小学校で習った唱歌を歌うわけ

楽しいいきいき元気サロン

です。この他、老人福祉センターよりゲーム機を借りたり、ゲートボール遊びなど、チームを五組つくり競い合います。その後楽しい食事です。

年三回は飯を炊き、汁物など用意します。また弁当など購入の場合もあります。午後開始する時は、お茶菓子にぜんざい、お団子などを女性役員が家で色々作って持って来て、一人ずつ皿に盛られたおりの、これが更に会を盛り上げます。

以上の他、血圧・体脂肪測定や、折り紙や運動などをして楽しむこともサロンの中で行なっています。これからもいきいき元気サロンを続け、老いの楽しみとしてやっていきたいと思っています。

サロンでのある一日	
13:00	集 合
13:00~	合唱・レクリエーション・茶話会
15:30	終 了

出張版

## 玖珠町老人クラブ連合会だより



勇退された理事や会長、米寿を迎えた会員による記念撮影

新 役 員

役 職	氏 名
会 長	志津里廣由
副会長 兼 女性部長	櫻井 哲子
副会長	日野 寿二

※ 他、理事9名



会 長 志津里廣由氏

6月17日に玖珠町老人クラブ連合会（以下、「町老連」）の総会が開催され、役員改選で会長以下役員が一新いたしました。

「新会長のあいさつ」  
 沢庵和尚の説話・「水と氷」を聞きます。「たとえば本心は水の如く一所に留まらず、妄心は氷の如く...」。不動智神妙祿（諭えて言えば、本来の心（本心）は水のように流動して、一カ所に固まらない。それに対し、迷いの心、誤った分別心（煩惱心）は氷のようなものだ...。と云うこと。年齢を重ねた心は本来柔らかくなっておほいのですが、かえって、自分はこつ思つとして譲らないことも多く見られます。「心は柔軟である方が、余裕があり、楽しみ多いこと」を知りましょう。友達を沢山つくると、楽しいです。知っていて、つくろうとしないことは、寂しいことです。それぞれの、単位会が積極的に行動されるクラブでありますよう願っています。

# 社会福祉協議会へ



(平成23年4月19日  
～平成23年6月13日)

## 香典返し

玖珠・九重カラオケ愛好会 様

下の園上 穴井 米倉 様

坂 口 南里サダ子 様

井川道 高倉 祐二 様

坂の上 木原 忠男 様

錦町上 佐藤 武夫 様

駅 東 穴本 春男 様

萩ヶ原 中村 次男 様

草の入江 合原カツ工 様

金栗院 星野テ儿子 様

代太郎 齋藤 進一 様

戸 畑 榎溪 孝文 様

田町下 住本 隆光 様

四日市 園田 敬徳 様

早 水 幸野眞砂子 様

宇 戸 佐藤 康雄 様

狭山市富士見 後藤美智子 様

東京都 本田鉄次郎 様

寄付金

栄 町 二田水富貴枝 様  
上の市 衛藤不二子 様

## 物品寄付

通リ町 長野 美子 様

松 信 平井 誠 様

友成 医院患者会 様

大分県椎茸農業協同組合 様

久大支部青壮年部 様

太 陽 印 刷 様

「ご本人の了承を得て  
掲載しています」

ありがとうございました



おおいた国体マスコットキャラクター  
「めじろん」

## 第14回

# 「井の外の蛙」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

## ― 覚悟 ―

会長 秋吉信隆

久留島武彦先生が子どもたちを前にして、「あなたたちの囲りにはたくさん運命の神さまがいます。どの運命の神さまを選ぶかはあなたたち一人ひとりの覚悟ひとつです」と語っている。

私たちは、一生のうちで大・小さまざまな覚悟を迫られ、決意しなければならぬことがある。

「覚悟」とは、予測される悪い状態、結果について心がまえをすること。ためらいや迷いを捨て決心すること。仏教用語では、「迷いを去り、真理をさとること」とある。

「覚悟しておけ」「覚悟のうえだ」「覚悟している」それぞれ表現は異なるが、どれも「心がまえ」を問うている。

人生には通過儀礼の儀式がある。誕生にはじまり、七五三、入学、成人(元服)、就職、結婚、還暦と儀礼習俗をうけるが、この節目で求められるのが「心がまえ」であろう。人の一生には想定外のことも起こるが、「備えあれば憂えなし」のことはあるように、健康面では日常の生活習慣が指摘されている。では「老後の備えは？」と問われた時にどのような返答ができるであろうか。

わが国の社会保障制度には  
①社会保険 ②公的扶助 ③社会福祉  
④公衆衛生及び医療 ⑤老人保健  
の5部門があるが、一人ひとりの自己責任とその心がまえが問われている。



## 2011年夏 福祉のしごと就職フェア

多くの方のご来場  
お待ちしております！

福祉の仕事を目指す方の就職活動を大分県福祉人材センターが応援します。福祉事業所の採用担当から直接話を聞けるチャンスです。モチロン参加は無料です！是非この機会をご利用ください。

- と き：平成23年8月7日(日)13:00～16:00
- と ころ：大分県社会福祉介護研修センター  
(大分市明野東3-4-1)
- 内 容：就職面談、各種相談ほか  
(無料託児コーナー有り)
- 申込・お問合せ 大分県福祉人材センター TEL 097-552-7000



# 平成22年度 玖珠町社会福祉協議会事業報告書

平成23年5月26日 理事会認定・評議員会承認

- ◆理事会(6回)、監査会(1回)、  
評議員会(5回)、四役会議(1回)、  
主任会議(4回)

## ◆共同募金・歳末たすけあい募金運動の実施

- ・赤い羽根共同募金運動実績 2,692,688円(平成23年度配分予定額 1,322,000円)
- ・平成22年度地域配分金使途内容 福祉団体支援・地域福祉活動事業等 総額1,393,000円
- ・歳末たすけあい募金運動実績 847,493円
- ・歳末たすけあい募金配分内容 各種見舞金 他

## ◆福祉啓発・調査活動

- ・広報活動の実施(情報誌めるへん隔月発行)
- ・災害時要支援者実態調査(民児協と共同)
- ・玖珠町民の生活実態調査の分析
- ・2010年童話の里くすふれあいフェスティバルの共催
- ・2010年歳末たすけあいチャリティーショー協賛(事務局支援)
- ・ご意見箱の設置

## ◆在宅福祉サービス(独自事業・委託事業)

### 1. 独自事業

#### 1) 介護保険事業

- ① 居宅介護支援事業(ケアプラン作成・契約・給付管理業務)  
延べ利用人員1,237人
- ② 訪問介護・予防訪問介護事業(ホームヘルプサービス)  
実利用人員 69人 延べ利用人員6,995人
- ③ 通所介護・予防通所介護事業(デイサービス)  
実利用人員 112人 延べ利用人員7,180人

#### 2) 障害者自立支援事業

- ① 居宅介護(ホームヘルプサービス)  
実利用人員2人

### 2. 委託・補助事業

- ① 老人福祉センター運営事業  
延べ利用者数13,730人 年間会場使用67回
- ② いきいき元気教室事業  
延べ利用人員1,570人 開所日数84日

### ③ 男性ふれあい広場

延べ利用人員215人 開所日数12日

### ④ 軽度生活援助事業

年間延べ利用回数38回 年間実利用人員30人

### ⑤ 給食サービス事業

年間実施回数32回 年間延べ利用人員1,446人

### ⑥ ファミリーサポートセンター事業

活動件数907件

### ⑦ 要介護認定訪問調査

年間回数56回

### ⑧ 視覚障害者日常生活情報提供事業

点訳利用者1人 音訳利用者3人

### ⑨ 生活福祉資金貸付事業

年度内貸付件数5件 貸付総件数69件

### ⑨ 夏のボランティア体験学習

参加者数23人

## ◆一般福祉諸活動

### 1) 総合相談事業

- ① 法律相談 開設日数 6日 相談件数38件
- ② 心配ごと相談 開設日数 12日 相談件数14件

### 2) 法外更生資金貸付事業

年度内貸付件数10件 貸付金額730,000円

### 3) 死亡者への弔意及び罹災世帯への見舞等

- ① 香典 件数207件
- ② 災害見舞い 件数 0件

### 4) 寄付金品の受納

- ① 特別寄付 28件
- ② 香典返し 109件
- ③ 見舞返し 1件
- ④ 現金換算物品 2件

### 5) 福祉機器貸出事業(3ヶ月間無料)

- |            |     |           |    |
|------------|-----|-----------|----|
| ① 車イス      | 31回 | ⑤ 四点杖     | 5回 |
| ② 電動ベッド    | 8回  | ⑥ 歩行器     | 3回 |
| ③ シルバーカー   | 2回  | ⑦ エアーマット  | 1回 |
| ④ ポータブルトイレ | 7回  | ⑦ シャワーベンチ | 3回 |

### 6) 福祉団体支援活動

- ① 事務局支援団体
  - ・老人クラブ連合会(郡・町)
  - ・身体障害者協議会(町)
  - ・ボランティア連絡会
  - ・民生児童委員協議会
  - ・歳末たすけあいチャリティーショー実行委員会
  - ・健康福祉事業推進委員会
- ② 事務局外支援団体
  - ・母子寡婦福祉会
  - ・たんぼほの会(知的障害者育成会)
  - ・玖珠町保護区保護司会
  - ・むつみ会(玖珠共同作業所)

# 平成22年度 玖珠町社会福祉協議会決算状況

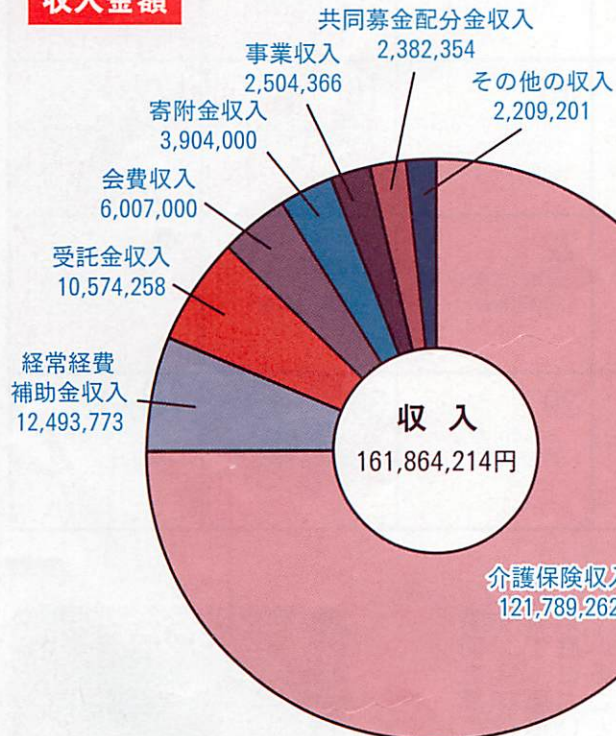
平成23年5月26日 理事会認定・評議員会承認

## 一般会計資金収支決算書

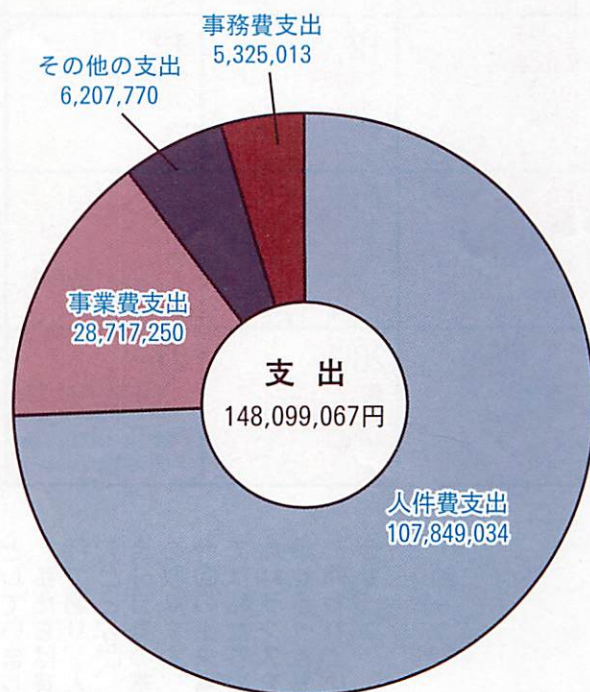
(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日 (単位:円)

		勘定科目	決算額	
経常活動による収支	収	会費収入 (皆様からの会費収入です)	6,007,000	
		寄附金収入 (皆様からの寄付金・香典返しの収入です)	3,904,000	
		経常経費補助金収入 (町からの補助事業補助金収入です)	12,493,773	
		受託金収入 (県・町からの委託事業委託金収入です)	10,574,258	
		事業収入 (実施事業からの収入です)	2,504,366	
			チャリティーバザー収入 上記収入の内、皆様から頂いた物品のバザーでの売上げ金額です	555,737
			共同募金配分金収入 (赤い羽根募金・歳末たすけあい募金実績から配分された収入です)	2,382,354
			共同募金配分金収入 赤い羽募金の内訳です	1,538,535
			歳末たすけあい募金配分金収入 歳末たすけあい募金の内訳です	843,819
			介護保険収入 (介護保険事業での収入です)	121,789,262
			その他の収入 (上記以外の収入です)	2,209,201
			合計 ①	161,864,214
		支	人件費支出 (社協役職員の人件費です)	107,849,034
			事務費支出 (社協事務局・事業事務費の支出です)	5,325,013
	事業費支出 (委託事業・介護保険事業などの事業費支出です)		28,717,250	
	その他の支出 (上記以外の支出です)		6,207,770	
	合計 ②		148,099,067	
当期資金収支差額合計		③=①-② (平成22年度の収入から支出を引いた差額です)	13,765,147	
前期末支払資金残高		④	68,856,043	
当期末支払資金残高		⑤=③+④	82,621,190	

### 収入金額



### 支出金額



### ◇ 財務帳票を閲覧できます ◇

玖珠町社会福祉協議会では、法人の財務帳票を閲覧することが出来ます。  
ご希望の方は、事務局へお申し出ください。

# 8月・9月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
7/31 ■童話の里くす 健康福祉まつり	8/1 ■老人福祉センター 休館日	2 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	3 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	4 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	5 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■給食サービス ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	6 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
7	8 ■老人福祉センター 休館日	9 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	10 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	11 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	12 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	13 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
14	15 ■老人福祉センター 休館日	16 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	17 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会(要予約) (ともに老人福祉センター)	18 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	19 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	20 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
21 ■大分県ボランティア ・市民活動推進大会	22 ■老人福祉センター 休館日	23 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	24 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	25 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	27 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
28	29 ■老人福祉センター 休館日	30 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	31 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	9/1 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	2 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	3 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
4	5 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	7 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	8 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	9 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	10 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
11	12 ■老人福祉センター 休館日	13 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	14 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	15 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	17 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
18	19 (敬老の日)	20 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	21 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	22 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	23 (秋分の日) ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	24 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
25 ■給食サービス	26 ■老人福祉センター 休館日	27 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	30 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	10/1 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)

7月22日～8月31日 夏のボランティア体験月間期間中

編集発行所 / 玖珠町社会福祉協議会

平成23年7月号 (隔月1回15日発行) No.79

## みなさんの声募集中

めるへんでは皆様の声を募集しています。紙面に関するご意見、ご質問又は福祉に関する疑問など何でもOK。もし何かございましたら玖珠町社会福祉協議会までお寄せ下さい。

## 編集後記

季節も夏になり、暑い日が続きます。今年は『東日本大震災』の影響で、職場はモチロンですが、各家庭においても節電に取り組みられていることと思います。

最近原子力発電の是非について広く討議されていますが、少し前までは火力発電はCO2排出量が多く、温暖化対策のためにそれまで以上に原子力へと移行しようとしていました。

私たちは普段、様々なものを天秤で測り、人生を送っています。「公」と「私」、「利益」と「対価」など、自分自身の基準により、バランスを取ります。

今回の出来事が今後の日本、延いては私たちの生活において、最適なバランスを取るためには、秤に乗せるべきものは何なのか、今こそ問われているのではないのでしょうか。



印刷 / 印刷センター  
大分県玖珠町大字航定225-3  
TEL 72-0457 FAX 72-6822